「体罰の禁止」と「教職員による子どもに対するセクシャル・ハラスメントの防止」について

校長 [redacted]

教職員による体罰は、学校教育法第十一条において禁止されています。体罰の例を挙げると、殴る、蹴る、叩く、長時間正座や起立をさせる、トイレに行かせない等があります。体罰は、違法行為であるのみならず、児童生徒の心身に深刻な悪影響を与え、教職員及び学校への信頼を失墜させる行為です。

教職員による子どもに対するセクシャル・ハラスメントは、教職員が子どもを不快にさせる性的な言動等を行うことにより、子どもが学校生活を送る上で学習意欲の低下や喪失を招くことはもちろんのこと、子どもの人格形成や学校生活を越えた生活にまで影響を与えるなど、その子どもに大きな不利益を与える、悪質で許されることのない人権侵害です。

知夫小中学校の教職員は、校内・校外の研修により「体罰の禁止」や「教職員による子どもに対するセクシャル・ハラスメントの防止」についての認識を深めます。また、教職員が児童生徒への指導・支援で困難を抱えた場合には、個人で抱え込まず、チーム体制で取り組むことにより、教職員と児童生徒がともに成長していける学校を目指します。

※校内に、子どもの人権問題に関する「人権対策委員会」を設置していますので、子どもの人権問題に関してお困りのことがありましたらご相談ください。

知夫小中学校
Tel 08514-8-2015
Fax 〃 8-2312
〒684-0100
知夫村 1053-1
〔HP〕https://www.chibumura.ed.jp/

【学校教育目標】

未来を切り拓く
心豊かでたくましい
知夫の子どもを
育成する

【めざす子ども像】

・自ら学ぶ子ども
・共に生きる子ども
・たくましく
　生きる子ども
・ふるさとを
　愛する子ども

全隠岐陸上競技選手権大会

四月二十九日（火）に行われた全隠岐陸上競技選手権大会に参加しました。小中一貫校の強みを生かし一丸となって大会に臨みました。仲間を応援する姿、自分の限界に挑戦していく姿、最後まで全力を出し切ろうとする姿が日に日に多く見られ、子ども達はたくましくなりました。

今回の大会を通して培った、団結力、挑戦していく姿勢、あいさつ、返事などのマナーをこれからの学校生活に生かしてほしいです。最後になりましたが、保護者の皆様をはじめ地域の方々、会場まで沢山の方が応援に駆けつけてくださり子ども達はとても心強かったと思います。応援ありがとうございました。

体育主任 [redacted]

【入賞者】

小学女子走り高跳び
第三位 [redacted]（一メートル〇八）

中学一年男子一〇〇メートル
第一位 [redacted]（十三秒六）

中学校男子走り幅跳び
第三位 [redacted]（五メートル〇一）

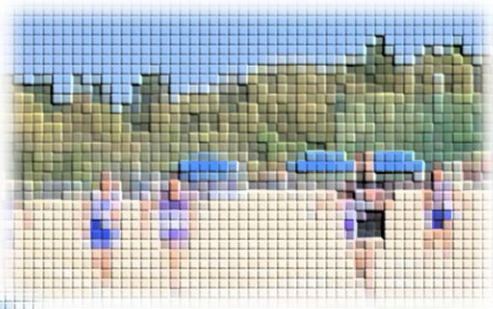
中学校女子走り幅跳び
第二位 [redacted]（四メートル一九）

【児童・生徒の感想】

今回の陸上大会は、自分の出る競技を最後までやりきれて、よかったと思いました。走り高とびは、自分のなっとくのいく結果を残せたのでよかったです。八〇〇メートルは最初にスピードを出しすぎて、あとからペースが落ちていったけれど、一周七十五秒くらいのペースで走れていたと聞いて、うれしかったです。

また、ふるまいの面では、あいさつや「ありがとうございます」などの感謝の気持ちを伝えることができ、大きな声で返事をすることもできました。そして、他の人が競技に出ている時に応えんすることもできたのでよかったです。次の島前陸上に生かしたいです。

小学部　六年 [redacted]



劇団 風「ヘレン・ケラー」観劇

五月十六日（金）西ノ島町総合運動公園体育館において、東京演劇集団 風による「ヘレン・ケラー」の公演があり、島前内の小中学校が参加しました。開演前には、舞台を自由に見学できる時間があり、演劇に使われる道具などを手に取ったり、井戸のセットで実際に水を出したりするなど、日常ではなかなかできない体験をして楽しみました。

表現力豊かな演劇を間近に見ることができ、小学生、中学生それぞれに伝わってくるものがあったようです。貴重な経験をすることができ、子どもたちの学び方や生き方に生かされるものがあればと思います。

【児童・生徒の感想】

アニー先生が来るときに、ヘレンがよろこんでむかえていたのがかわいかったです。ヘレンは目が見えないし、耳が聞こえないけど、ゆうきがあり、心を開いたときにみんなと心を一つにしてつながり合えたところがかんどうしました。わたしも元気が出ないときに、ヘレン・ケラーを思い出してがんばりたいです。

小学部　三年 [redacted]

私は演劇が好きだったので、とてもよい機会となりました。舞台のセットがヘレン・ケラーの世界観と合っていて、すてきでした。舞台バックの絵が「ひびき合うものたち」という題名とマッチしていて、考察することが楽しかったです。照明の当て方もすごくおもしろかったです。パンフレットにも劇中に出てきた場面や内容が載っていて、こだわりを感じました。短い時間でしたが、ありがとうございました。

中学部　一年 [redacted]

～ありがとうございました～

郡区にお住まいの [redacted] さんより、飲料水のお志をいただきました。暑くなってきましたので、運動の後などにいただく予定にしています。

いじめ防止基本方針について

学校教育において、「いじめ問題」が生徒指導上の重大な課題となっています。近年の急速な情報技術の発展と普及によりＳＮＳ等を介した新たないじめが生じるなど、いじめはますます複雑化・潜在化してきています。こうした中、すべての教職員が改めていじめについての理解を深め、防止や解決のために組織的に取り組むことが求められています。このため、本校でも、いじめ早期発見のための手立てやいじめが起きた場合の対応の在り方を具体的に示すとともに、いじめを学校全体で正しく理解するため、「知夫小中学校いじめ防止基本方針」を作成しています。

今年度もこの方針をもとにして、授業改善や集団づくり、情報モラル教育に力を入れることで、児童生徒が安心して過ごせる学校を目指していきます。

また、いじめ防止対策委員会を組織し、いじめへの対応や重大事態が発生したときの対応について、関係機関との連携を含めて、学校全体で確認しています。保護者の方々にもいじめ防止基本方針について理解していただき、家庭と連携しながら、いじめのない知夫小中学校を目指していきたいと思います。

※以下に知夫小中学校いじめ防止基本方針（ダイジェスト版）を掲載します。

知夫小中学校いじめ防止基本方針（ダイジェスト版）　知夫村立知夫小中学校

１．いじめの定義

児童・生徒に対して、当該児童・生徒が在籍する学校に在籍している当該児童・生徒と一定の人的関係にある他の児童・生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童・生徒等が心身の苦痛を感じているものをいう。この定義を踏まえ、個々の行為が「いじめ」に当たるかどうかの判断は、表面的・形式的にすることなく、いじめられた児童・生徒の立場に立つことが必要である。

２．知夫小中学校重点目標

早期発見のために、日頃から積極的に児童･生徒とふれ合い、変化を感じた際には、些細なことでも共有する。

３．いじめ予防の取り組み

①校内体制の取り組み（「いじめ防止基本方針」に基づいた取り組み、あいさつ週間の実施等）
②授業改善の取り組み（分かる授業、教え合い、学び合う学習集団作り、学習規律の定着、学校図書館活用）
③いじめに関する学習の取り組み（道徳の授業、人権集会）
④集団づくりの取り組み（学級目標達成、児童生徒会の取り組み、認め合う活動等）
⑤ネット問題への取り組み（使用ルールづくりなど家庭への啓発）
⑥保護者への取り組み（校報、生活習慣づくり、こまめな保護者連絡等）

４．早期発見・早期対応の取り組み

◎児童・生徒理解と情報交換→アンテナを高く持つ
① 全教職員での情報共有
② 教育相談の実施
③ アンケート QU の実施

５．いじめへの対応

① いじめられた児童・生徒への対応（保護者との連携）
② いじめた児童・生徒への支援と指導（保護者との連携）
③ 学級や学年など、周囲の児童・生徒への支援と指導
④ スクールカウンセラーや警察などとの連携

６．重大事態への対応

◇ 児童・生徒が自殺を企図した場合
◇ 精神性の疾患を発症した場合
◇ 身体に重大な障害を負った場合
◇ 金品等に重大な被害を被った場合
◇ 児童・生徒が相当の期間（30 日以上）学校を欠席することを余儀なくされている場合
◇ 保護者から重大事態の訴えがあった場合
→村教育委員会に報告すると共に、村教育委員会と連携して対応する。

※いじめ防止対策推進法及び島根県いじめ防止基本方針をもとに作成

小学部一・二年生の紹介

一・二年生は、九人の個性豊かなチームです。一年生、二年生、あおぞら学級の三つのグループでそれぞれ学習する時間もあれば、九人のチームで学習する時間もあります。

一年生は、分からないことばかりだった学校生活にも徐々に慣れ、身の周りのことが自分でできるようになってきました。学級の当番活動も始まり、より一層目を輝かせています。自分の仕事を最後まで頑張る姿に期待しています。

二年生は、初めての複式学級。お兄さんお姉さんとして頼られる場面が増えました。少人数ながらも二年生同士で協力し合ったり、教え合ったりしながら個性豊かなチームを引っ張っています。

勉強も給食もらんらんタイムも掃除も全力で取り組み、楽しむ一・二年生をよろしくお願いします。